

町政懇談会終了

～ 暮らしやすいまちづくりを目指して ～



仲町自治会 (7月31日)

町政懇談会は、町政運営に町民の皆様の見解を反映することを目的に毎年開催しています。

今年度は、7月23日から8月12日まで全自治会12箇所で開催し、計158名の町民の方が出席、町政に対する活発な議論が交わされました。

内容については、地域ごとの要望事項が多く含まれていることから、全町的に共通する事項のみ、ご紹介します。

また、重複する内容については、まとめて掲載しています。

(Qは問、Aは回答説明です)

Q 臨時福祉給付金の内容について、申請書が届いたので対象になると思った。課税・非課税の判断は役場でできないのか。また、資料もわかりにくく理解するのが難しいと思う。

A 税情報等は個人情報にあたり、本人の同意がないと調べることができません。国の指導により全世帯に申請書を配付しています。様式・資料においても国で定められたものを使用しています。内容等にわからないことがございましたら、保健福祉センターまでお問い合わせください。



Q 開村100年事業について、委員の構成は。交流事業はどのようなものを検討しているのか。

A 委員は8名(うち女性2名)で、農業・商業・女性・福祉・教育と幅広い分野から委嘱をさせていただきました。3名の方には、昨年度の検討委員会から引き続き委員をお願いしています。

母村との絆を育む交流事業として、具体的に検討している一つは教育の提携です。小学校での児童・教員・文献資料の交流について相互交流の協定書を本年度中の締結をめざしています。また、それぞれの高齢者大学の交流も検討していきます。

その他の記念事業は、今後開催されます検討委員会で検討を進めます。(4Pを参照してください)



三笠南自治会 (8月1日)

Q 防災情報ラジオについて、1次募集とあるが2・3次募集はあるのか。現在使用している個別受信機はどうするのか。会社の分は購入できるのか。

A 防災情報ラジオは受注生産となるため募集期間を設けましたが、今後も多くの町民の方に購入いただけるよう募集を継続していきます。配付時期は12月になる予定です。現在の個別受信機は使用できる限り使用していただいて構いません。ただ、受信機が古くなってきたりしますので、この機会に購入を検討ください。今年度は、まず世帯を対象として多くの町民の皆様にご購入していただき、今後、会社等への販売も検討していきます。



Q 郷土資料館の改修を開村100年事業に合わせて検討するための予算措置をしていたが、現在どのようなになっているのか。

A 郷土資料館の改修を検討していましたが、建設場所等の課題や人的・期間的な問題、また、町全体の事業の優先順位を検討した結果、建て替えの時期も含め100年事業とは切り離すことになりました。廃校となった校舎にも多くの郷土資料を保管している状況があり、集約や展示も含め、今後どのような形が良いのか継続して検討していきます。

Q 路線バスをデマンド(予約)方式にしているが、状況と評価はどのようなになっているのか。

A 4月から4路線で実証実験運行をおこなっています。運行便数では、第2便以降を予約がある場合のみ運行し、前年対比(平成25年4・5月)で168便の減少となりました。走行距離は、停留所を経由する路線ではなく、予約場所までの最短で運行するため、前年対比(平成25年4・5月)で走行距離が約6,400km減少し、燃料費についても削減が図られています。利用者からは、自宅前で乗り降りができ、乗車時間も短縮され便利になったとお聞きしています。ただ、電話での予約にお手数をおかけしますが、今後も多くの方のご利用をお願いします。

Q 町政懇談会を昼間に開催できないのか。高齢者の参加が少ないと思う。老人クラブの例会等に来てもらえれば多くの意見が出ると思うが。

A 過去には、冬の時期に昼間開催していたことがあります。現在は、新年度の事業に反映させるため、夏場の開催となり夜間の実施となっております。多くの町民の皆様からご意見をいただくことは大切なことです。老人クラブからの要望として相談していただきたいと思います。



松岡・北原自治会 (8月4日)

この他にも、自治会の皆様から多くの意見要望が寄せられました。寄せられた意見は今後の町政運営に反映されます。また、緊急を要するものや、後日確認が必要となる事項については、関係機関と協議をおこなうとともに、その処理状況を関係者及び各自治会にお知らせすることになっていきます。意見要望に関する不明な点などがありましたら、役場担当窓口までお問い合わせください。